

# 拝見!

## 全国消防署

Vol.8

Asahi City Fire Department Headquarters  
East Division

# 旭市消防本部 東部分署



「旭市消防本部 東部分署」は、旧海上・旧飯岡の分署を統合し、人員や資機材を集約することによって、地域消防力の強化を目的として建設した施設。同署が有する施設の特長について、旭市消防本部 総務副課長の小林 祥康氏、旭市消防本部 東部分署長の石井 宏氏にお話をうかがいました。

## 地域の防災拠点として、 令和7年4月に新庁舎の運用を開始。

「旭市消防本部は旭市消防署、東部分署、干潟分署の1消防署2分署で構成されています。少子高齢化による人口減少や高齢化の進行など社会情勢の中で、消防署の建屋老朽化や訓練施設の整備の遅れといった課題を抱えていました。その解決策の一つとして、旧海上分署と旧飯岡分署を統合した、東部分署を建設することとしました。令和5年12月に工事に着工し、令和7年3月9日に竣工、4月1日に開署しました」と語るのは旭市消防本部 総務副課長の小林 祥康氏である。旭市は九十九里浜の雄大な海岸線を有し、広大な穀倉地帯が共存する。

## 津波被害を想定して、 消防機能を強化した新庁舎に。

旭市消防本部は、2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災で被災している。津波被害にも遭い、多くの犠牲者を出し、液状化などの被害も発生した。「私たち消防は東日本大震災を経験して得た、体験と教訓を元に、大災害に備えた消防力の強化と職員育成に努めてきました。「旭市消防本部 東部分署」は、防災拠点として立地環境にも配慮しています。津波被害を回避できる内陸に建設し、有事の際の安心と機動力を確保しています。広大な敷地は、今後、発生が危惧されている首都直下地震や南海トラフ地震等の巨大地震に迅速・的確に対応できるよう、消防防災体制



を強化するとともに、有事の際には他消防本部から受援も円滑に行える機能を確保しています。」(小林氏)

## 総合的に製品を判断し、 県内初の電動折り戸を採用。

電動折り戸は新庁舎計画の初期段階から導入を検討したというが、その経緯について小林氏は次のように語る。「電動折り戸は千葉県で初めて採用された装備で、製品の総合力を判断して導入しました。洗練されたデザインと出動する消防職員への労働負担を軽減する機能を両立しています。新たな地域防災拠点のシンボルにふさわしく、庁舎の外観を美しく演出し、夜景も素晴らしい。オプションで強化ガラスの仕様としたことで、単に現代的な外観だけでなく、建屋内外からの視認性が高いので、建屋の防犯性に大きく寄与しています。」(小林氏)

## 優れたランニングコストも 導入決定の大きな要因に。

新庁舎は海から隔てた地に建つものの、雄大な九十九里海岸からの海風による塩害被害も考えられた。折り戸の運用にあたっては導入後のランニングコストも懸案事項だったという。「運用後に最も心配されたのはワイヤーやバネ等金具部品への腐食でした。修繕に多額の費用が生じないか不安はありましたが、メーカーからの入念な説明もあり、不安も払拭できました。また、同社の折り戸を導入された近隣の消防署さんからもメンテナ

ンスに関する情報を入手し、防錆効果も十分に確認できたことで不安も一掃し、満を持して導入を決定しました。」(小林氏)

## 自動折り戸の機能性は、 職員の負担軽減の助けに。

折り戸の使用性について、旭市消防本部 東部分署長の石井 宏氏は次のように語る。「まず、車庫内のボタンで自動開閉する扉なので緊急要請に対して、車両はスピーディに出動できます。帰署の際も車内にあるリモコン操作で、扉を自動で静かに開け閉めでき、隊員の労力軽減にもつながっています。」  
また、その他の特徴として、建屋の壁自体が登はんの訓練仕様となっていることをあげる。「屋上は30人の隊員が訓練できる堅牢な設計となっており、社会が求める防災・減災拠点にふさわしい、

最先端の消防分署ができたと思っています。」  
旭市消防本部 東部分署は有事には機動力を誇る消防署であるとともに、災害に強く、住民が安心して暮らせる地域全体のランドマークとして、住民の期待を担っていく。

### 千葉県 旭市消防本部 東部分署

令和7年4月1日開署。  
旧海上(うなかみ)、旧飯岡の分署を統合し、東部分署を新築。

- 水槽付消防ポンプ自動車
- 消防ポンプ自動車
- 高規格救急車
- 支援車
- 連絡車

〒289-2612 千葉県旭市蛇園2458-1



旭市消防本部 総務副課長  
小林 祥康氏

  

旭市消防本部 東部分署長  
石井 宏氏

次世代消防署扉  
超大型折り戸

KIKUKAWA city texture

# しゅもん

- 大開口の門扉を約10秒で静かに電動開閉
- 優れた耐久性、防犯、安全性を確保
- スタイリッシュなデザインでカラーやガラス面積などにも柔軟に対応

施設騒音問題を解消、  
出動時の機動力を強化する。

▶お問い合わせは

菊川工業株式会社  
〒130-0024 東京都墨田区菊川 2-18-12

Tel:03-3634-3231  
www.kikukawa.com

超大型折り戸  
「しゅもん」の  
導入事例は

